

# JIA 国際交流活動支部助成事業 報告書

## “Building Stories: Voices of Place— 建築が語る地域の物語 —日本からロンドン、ロンドンから日本へのまなざし”



2026/02/03

関東甲信越支部・杉並地域会

- 事業名： “Building Stories: Voices of Place—建築が語る地域の物語  
—日本からロンドン、ロンドンから日本へのまなざし”
- 主催者： 公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部杉並地域会、
- 協賛・後援： 東京工科大学デザイン学部、西荻のこと研究所
- 事業概要： 本事業は、杉並地域会の活動として、ロンドンを拠点に 30 年活動し、Kingston University や AA スクールで教育にも携わる建築家・早津毅氏を招聘し、レクチャーと懇談会を開催する。素材や物語を重視し地域と協働する実践を共有することで、参加者が建築文化の多様な価値を理解し、建築家の役割を再考する機会を創出する。この催しは単発ではなく、今後の日英共同ワークショップや市民協働型の試行につなげる基盤形成とする。
- 事業の目的： 国際的に活動する建築家の視点を通じて建築文化の多様な価値を共有し、地域社会における建築家の役割を再考することを目的とする。早津氏の、素材や物語を媒介に人と建築、地域を結びつける視点や実践は、杉並地域会が重視するまちづくりの考え方に通じるものであり、その知見を市民・学生・建築関係者と共有することで、建築文化の普及・啓発と、持続可能で開かれた公共空間のあり方について理解を深めることを目指した。
- 実施場所： 西荻のことカフェ
- 参加者： 48 名 / JIA 関東甲信越支部・杉並地域会 9 名、学生 13 名（東京工科大学大学 9 名、高校生 2 名、東京大学 1 名、東京藝術大学 1 名）一般 26 名
- 実施期間： 2025 年 12 月 19 日～ 2025 年 12 月 19 日
- まとめ： 本事業は、レクチャー60分および会場参加者とのクロストーク 45 分の構成で実施され、建築関係者、教育関係者、学生に加え一般市民も参加する、多様な立場が交差する場となった。会場では、専門的視点と生活者の視点が交わり、終始高い関心のもとでプログラムが進行した。レクチャーでは、日本の伝統的な素材観や空間思想を英国の文化的文脈において再解釈する建築実践や、建築実践を教育へとつなげる取り組みが紹介され、参加者にとって国際的な視点から建築の可能性を考える機会となった。続くクロストークでは、立場や世代を越えた活発な意見交換が行われ、参加者同士が共に考え、学び合う双方向的な場が形成された。これらを通じて、建築文化の多様な価値への理解が深まり、地域社会における建築家の役割を再考するという本事業の目的は十分に達成されたと評価できる。今後は、本事業で形成されたネットワークを基盤として、さらなる協働や実践的な取り組みへと展開していくことが期待される。
- 報告書作成者：宮元三恵・中村雅子

# JIA 国際交流活動支部助成事業報告写真



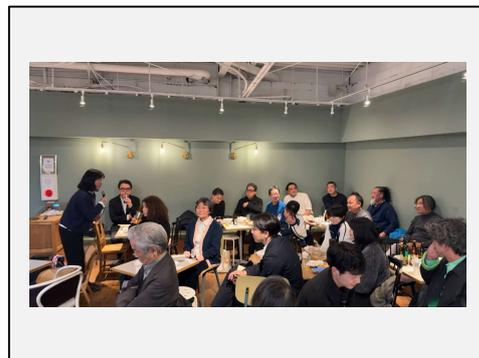
早津毅さん



会場風景



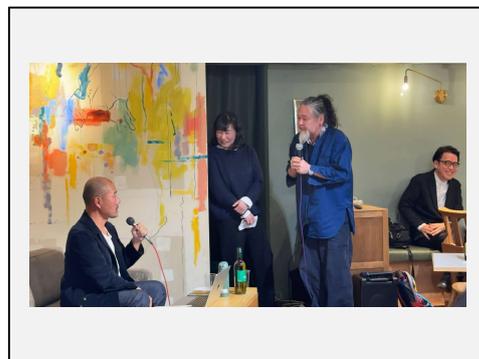
杉並地域会の林美樹さん



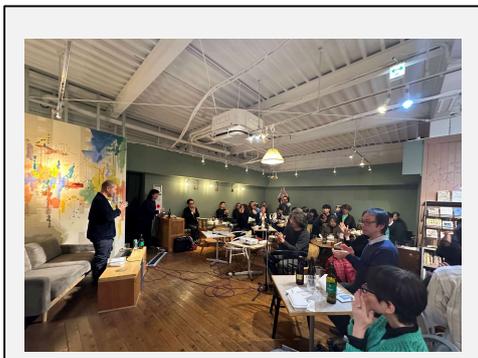
イギリス AA スクールの卒業生 6 名ご参加



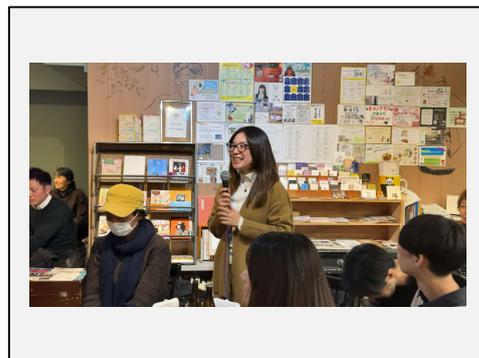
学生からの質問



野老朝雄さん質問



セミナー無事終了



AA スクール卒業生の方の質問